総天然色



六道神士画集

FIFTH

RIKUDOUKAN presents

RIKUDOUKAN
presents

六道神士

六道神士画集



FIFTH



●アワーズ表紙用イラスト

EXCEL SAGA

まずは、アワーズの表紙や本誌収録のカラーページ等に使用した絵を選んでみました。
ヤングキングアワーズが平積みで並んでいたりすると、とてもうれしいのですが、
同時にその場から逃げたくなったりもします。
本屋に並んだ自分の絵はなかなか気恥ずかしいものです。未だに慣れません（苦笑）
何というか、自分の顔写真が並んでいるのと同じ位の照れくささというか・・・私だけなのかもしれませんが。

◆アワーズ表紙用イラスト





●エクセルサーガ連載50回表紙イラスト



アワーズ表紙用イラスト





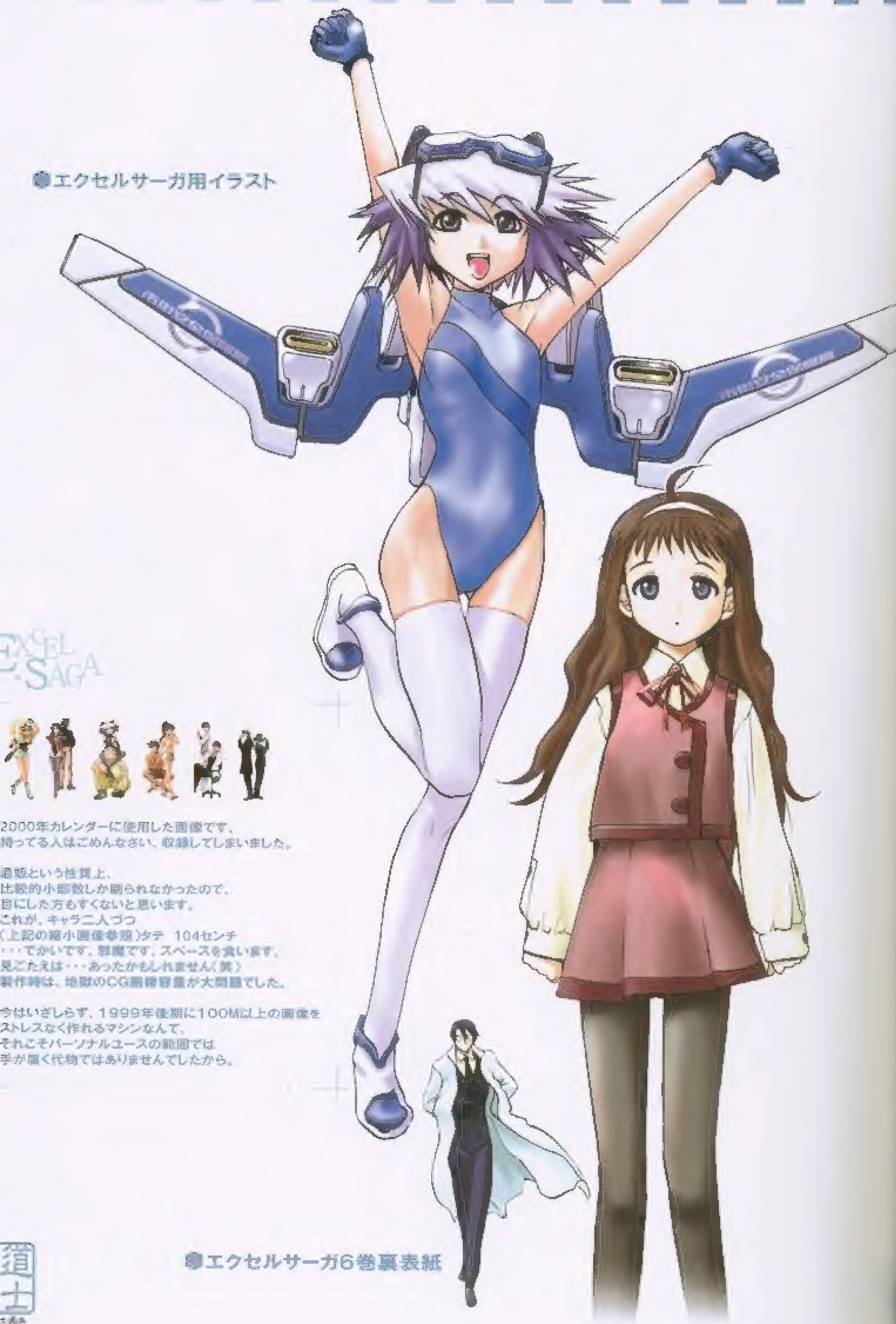
2000年カレンダー用イラスト

六道神士

2000年カレンダー用イラスト



エクセルサーガ用イラスト



EXCEL SAGA

2000年カレンダーに使用した画像です、
持ってる人はごめんなさい、収録してしまいました。

通販という性質上、
比較的小部数しか刷られなかったので、
目にした方もすくないと思います。
これが、キャラ二人づつ
（上記の縮小画像参照）タテ　104センチ
・・・でかいです、邪魔です、スペースを食います、
見ごたえは・・・あったかもしれません（笑）
製作時は、当時のCG画像容量が大問題でした。

今はいざしらず、1999年後期に100M以上の画像を
ストレスなく作れるマシンなんて、
それこそパーソナルユースの範囲では
手が届く代物ではありませんでしたから。

エクセルサーガ6巻裏表紙

六道神士



ガ5巻カバーイラスト



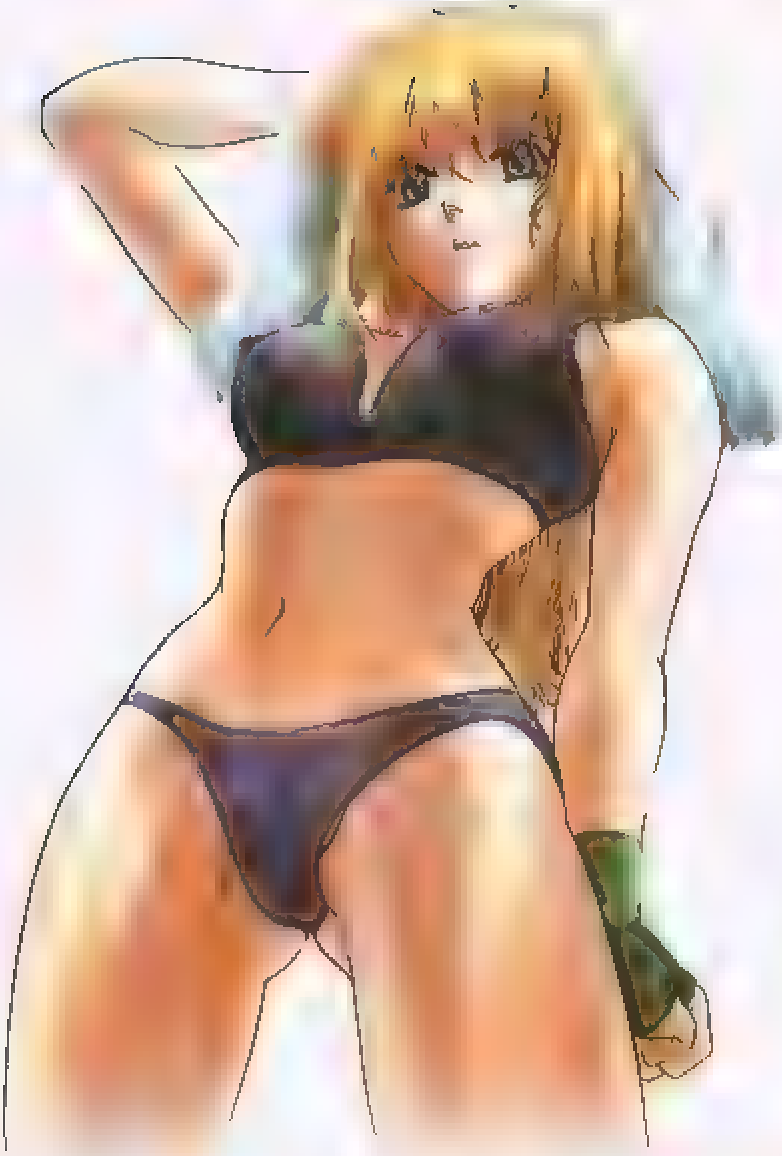


●エクセルサーガ5巻扉表紙

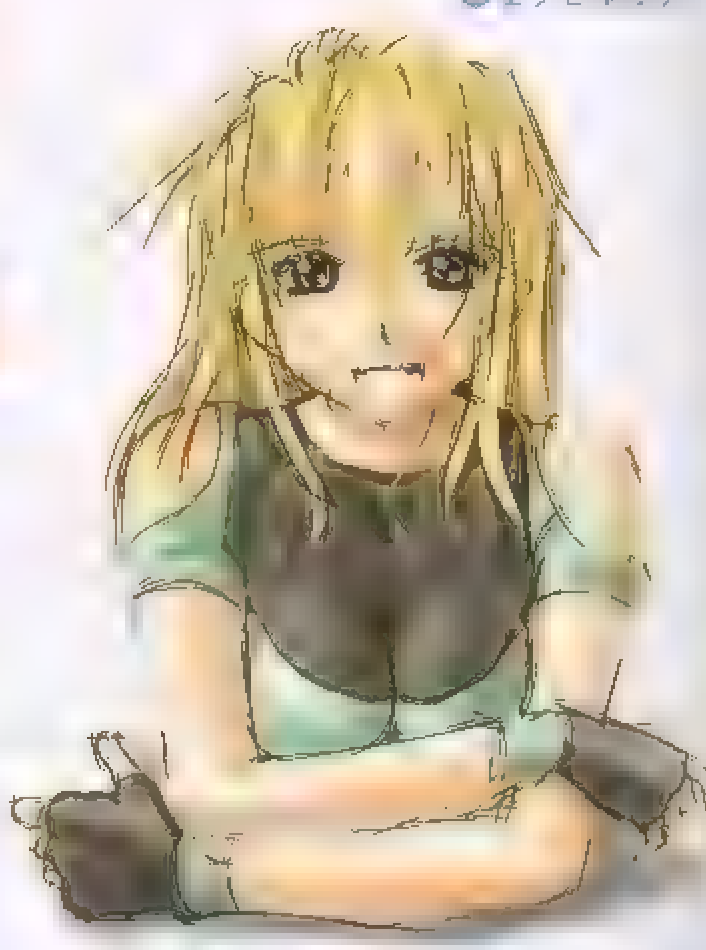


同人下敷き用イラスト





同人用下敷きについての考察です
セクシーしという方向性と
「ユクセルの制服の構造のオフィシャル設定を考えてみよう」





[illegible]

…が分からなくなります

…作品ではありますが、

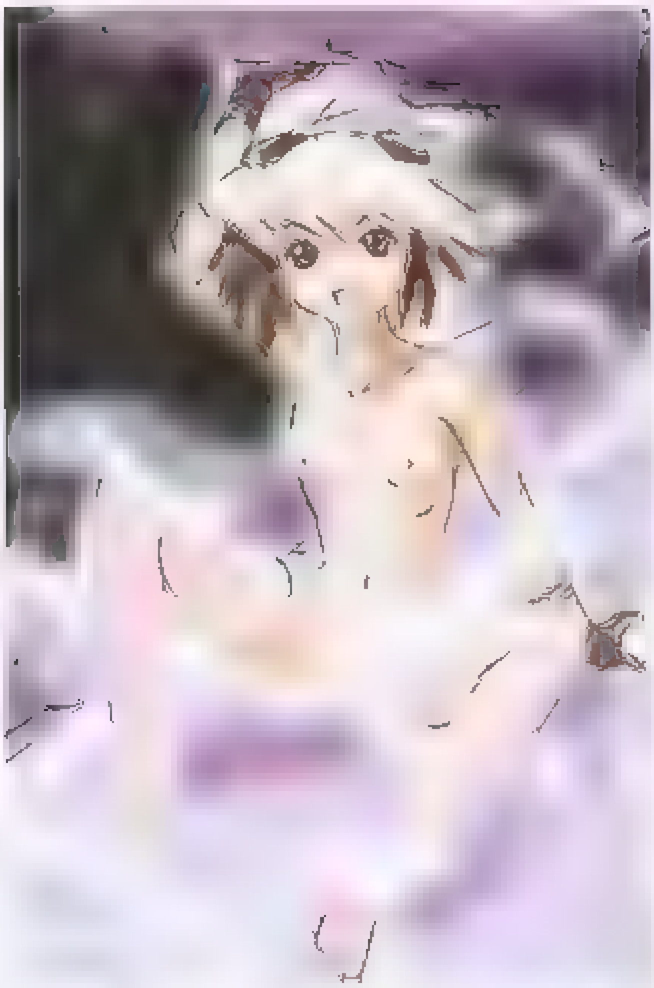


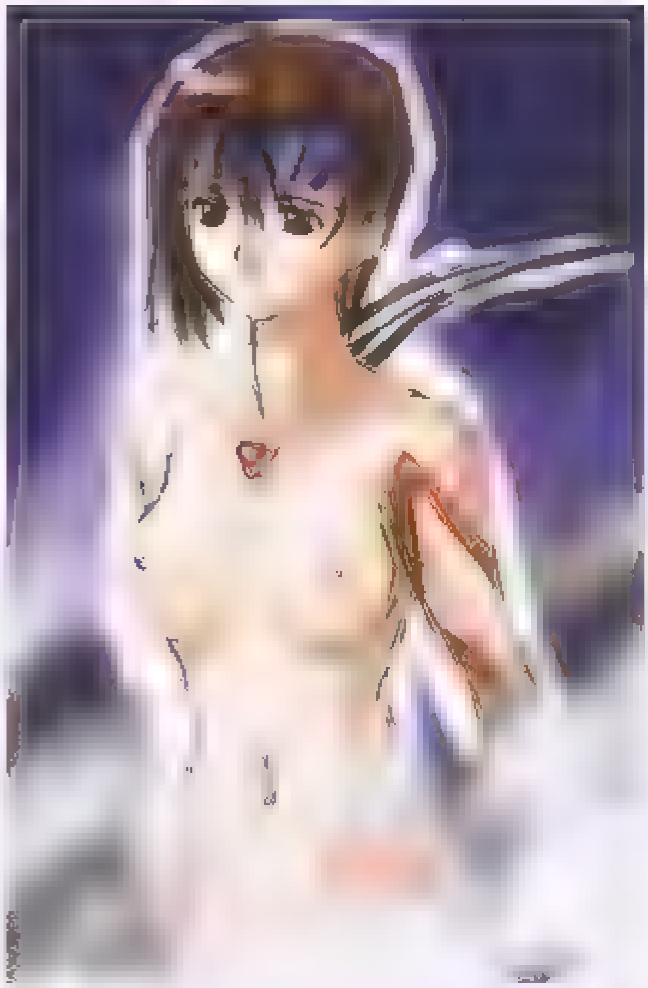
● 下敷き用イラスト

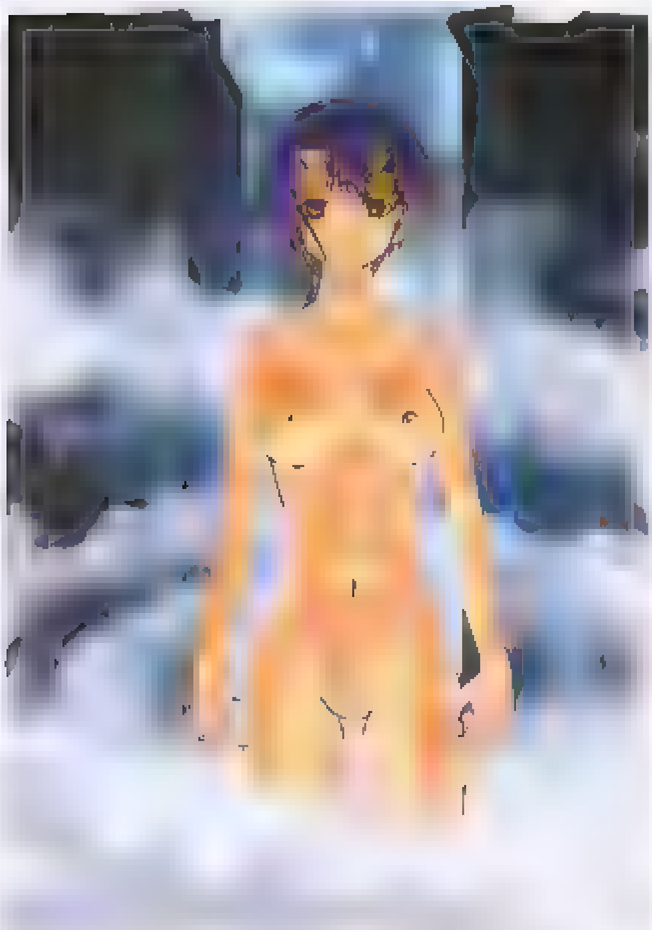


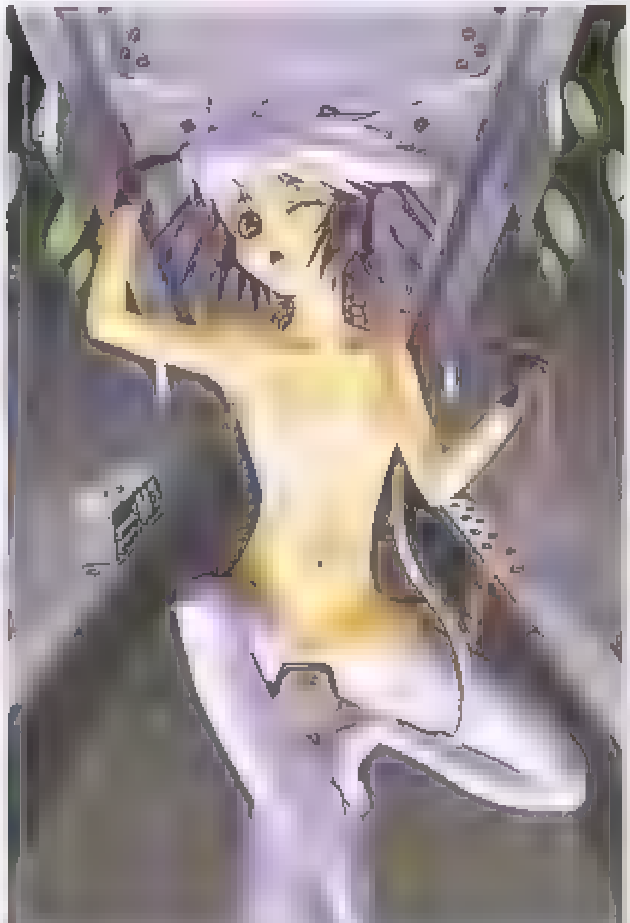


● ハイアット没ラフ









●同人誌用メイさんズ



㉑

●同人誌用イラスト





●同人誌用うそさくら





●同人誌用イラスト

ソニックアドベンチャー2の発売がうれしくて
つい描いてしまいました、なんで女型やねん
[illegible]
[illegible]です
[illegible]
[illegible]初期シリーズのソニック2です
[illegible]
[illegible]も、とんな形になっても
[illegible]ースです
[illegible]
[illegible]てコンプリートする事か
[illegible]いです。
[illegible]いた
ナイツというゲームのキャラ(を勝手に擬人化したもの)です
私セガの回し者みたいですね



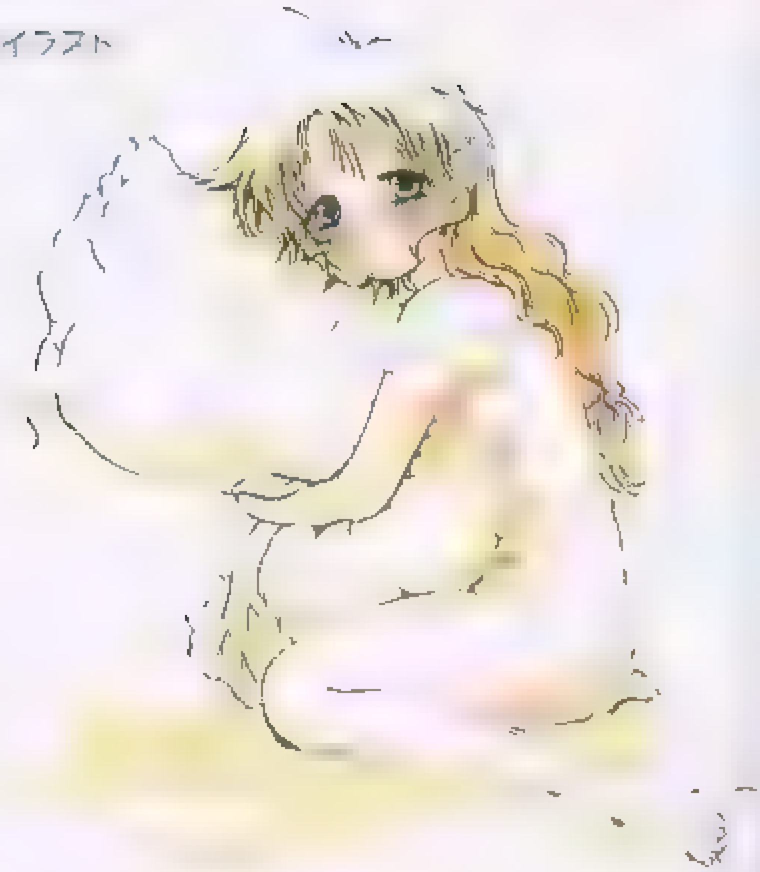

●書き下ろしイラスト
六道神士

[illegible]同人[illegible]イラス



●同人誌用イラスト





どこかで見たようなキャラを並べてみました
もう元ネタが何やらわからないものも混ざっています
ミーハーなラインナップで
メジャーナも有名にも程があるキャラばかりですので
一応「ただのラクガキ」「似てるかなあ」
「ううん、偶然。」と言い訳しておきます

時々こんなラクガキをしたくなります
たまに違うノリの絵を描くのは新鮮で楽しいです







●小説「無明の剣」1巻カバーイラスト



の剣」2巻口絵イラスト



■小説「無明の剣」1巻口絵イラ

●小説「無明の剣」2巻カバーイラスト

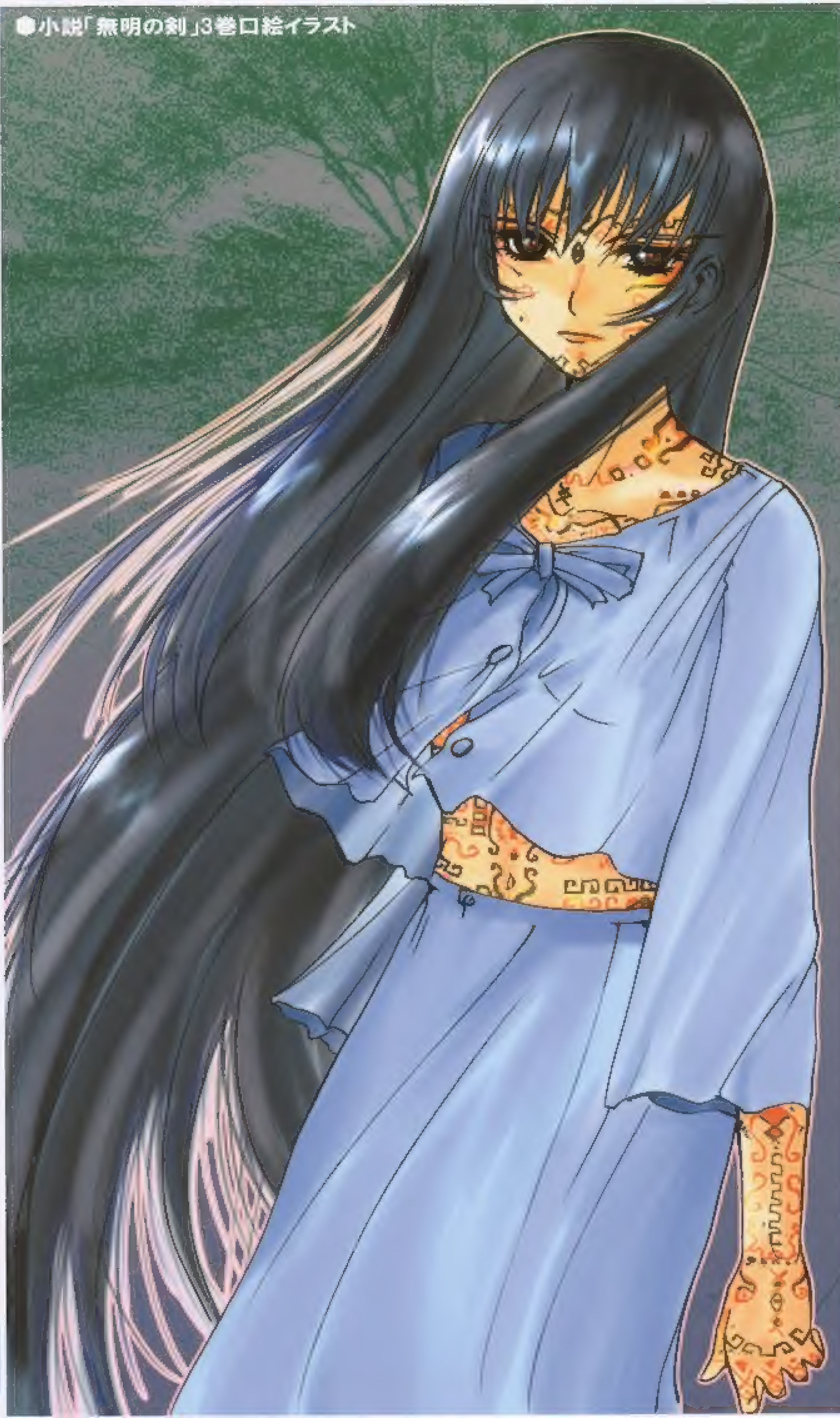


●小説「[illegible]」2巻口絵イラスト





●小説「無明の剣」3巻カバーイラスト



●小説「無明の剣」3巻口絵イラスト

あとがき

世間一般で、CGで絵仕事をする事が
当たり前になって久しくなります。
私自身、仕事にPCを導入してもう2年以上経ちました。
今回のこの画集も、メディア形態として、
当初「データー画集」という形でCD－ROM化
することを検討していたくらいです。
しかし、いろいろな方法で投票をとってみたところ、
読者の方々がまだまだ紙媒体を
望んでおられるという結果が出ました。
そのような理由で、
ここに六道館初のフルカラー本を
お届けしているわけですが、いかがでしたでしょうか。

内容的には、やはり
圧倒的にエクセルサーガの絵が多く、時期によって
ツールやPC機体性能の変遷によって
作業工程もまちまちです。
当初は完全に「紙と絵の具」の代替物だったのですが、
後半だんだんCG的な表現を取り入れるようになりました。
カラーに対する造詣も浅かった自分にとって、
どうせ1から勉強するのなら同じ事だと勧められて
CGを始めましたが、比較的肌に合っていたようで、
手書きの頃よりもはるかにカラーの仕事が増えました。
というより、商業仕事で手書きでカラーを描いたのは、
いまから考えるとせいぜい10枚前後だった気がします。
技術的にいろいろな面で課題も多く、
まだまだ発展途上の身でこのような物を作るのは
多少気も引けました。
しかし、基本的にカラーワークには
2次収録というものが無く、このような形でまとめない限り、
これらの作品はおそらく
2度と日の目を見ることは無いでしょう。
カレンダーを、アワーズ本誌を目にしなかった方へ、
少量ですが描き下ろしも含めてお届けしました。
これが、六道神士の、
1999～2001間のカラーワークの一部です。

2001年　六道神士



奥付け

[redacted]



FIFTH

RIKUDOUKAN
presents